

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
黒潮盃	2018/8/15	SII	大井	1800m	ミドルペース	良	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	デイジーカーニバル	牡3	56	石崎駿	ヘニーヒューズ	ノーザン系	Cherokee Run	ナスルーラ系	A	C	C	B	B	B	▲	
2	2	ベルセルク	牡3	57	真島	マンハッタンカフェ	サンデー系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	D	B	D	C	D	D		
	3	マースインディ	牡3	56	藤本	カジノドライブ	ナスルーラ系	ネオユニヴァース	サンデー系	C	B	B	B	B	B	△2	
3	4	キャスタウェイ	牡3	56	町田	ハービンジャー	ノーザン系	ファルブラヴ	ノーザン系	D	C	C	D	D	D		
	5	クリスタルシルバー	牡3	56	的場文	サムライハート	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	A	B	B	B	B	B	◎	
4	6	ワグナーコーヴ	牡3	56	御神本	マンハッタンカフェ	サンデー系	Salt lake	ノーザン系	A	A	C	B	B	B	△1	
	7	スプリングマン	牡3	56	繁田	ローズキングダム	ミスプロ系	ゼンノメイジン	ミスプロ系	D	B	D	C	D	D		
5	8	クロスケ	牡3	56	笹川	キャプデントウレ	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	A	B	B	B	B	B	○	
	9	ステラライト	牡3	56	赤岡	フリオート	ロベルト系	ゴールドアリュール	サンデー系	D	A	C	B	C	C		
6	10	ミスマンマミーア	牝3	54	森	タニノギムレット	ロベルト系	サンデーサイレンス	サンデー系	C	A	B	B	B	B	×1	
	11	マッドドッグ	牡3	56	本田	パイロ	ナスルーラ系	ダンスインザダーク	サンデー系	C	B	C	C	C	C		
7	12	サマルカンドブルー	牡3	56	瀧川	アツミラーレ	サンデー系	チーフベアハート	ノーザン系	D	B	C	C	C	C		
	13	ビップレイジング	牡3	57	藤原	シニスターミニスター	ナスルーラ系	フォーティナイナー	ミスプロ系	C	C	B	C	C	B	×2	
8	14	ワンダーツウ	牡3	56	左海	ゴールドヘイロー	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	△3	
	15	トミケンジョメルト	牡3	56	矢野	タートルボウル	ノーザン系	スペシャルウィーク	サンデー系	D	B	D	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
ワグナ スプリ クリス ワンダ ステラ デイジ マッド クロス ベルセ サマル ミスマ マース トミケ ビップ キャス	<p>黒潮盃は例年、ジャパンダートダービー組vs上り馬vs他地区勢という構図になるレース。ただ今年は上り馬、他地区勢ともにやや手薄な印象。人気の中心はジャパンダートダービー組、クラシック路線組になりそうだが、まずはその中での優劣を考えるのがいいのではないかな。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は素直にクリスタルシルバーでいいはずだ。春の時点ではクラシックの完全なる脇役だったが、東京ダービーで勝ち馬ハセノパイロからタイム差なしの2着に好走すると、ジャパンダートダービーでは地方勢の最先着を果たしたどころか、2着オメガパフューム、3着グレートタイムからタイム差なしの4着に大健闘。それも正攻法の競馬で粘り込んでおり、明らかに地力強化を証明する内容だった。（以下省略）</p>	回顧 次走狙い馬

ミドルペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	デイジーカーニバル	▲	前走東京湾カップはアクシデントがあつての敗戦なので参考外と捉えていい。2走前のブルーバードカップの内容から能力の絶対値なら世代ナンバー1の可能性もありそう。		
2	2	ベルセルク		2走前の高知優駿2着コスモバレットは南関東1勝馬。本馬はそのコスモバレットに完敗。南関東で通用するレベルではない。		
	3	マースインディ	△2	クラシックでサッパリだったが、雲取賞までのパフォーマンスを考えるともっと走れたはず。前走B1は距離不足の1400mながら上り最速を脚を使って2着に好走。ここに来て復調ムードが漂い、引き続き警戒が必要だろう。		
3	4	キャスタウェイ		南関東でまだ1勝しか挙げておらず、近走は特別戦でも見せ場なく敗退。重賞では荷が重い。		
	5	クリスタルシルバー	◎	ジャパンダートダービーでは地方勢の最先着を果たしたところか、2着オメガパフェム、3着グレートタイムからタイム差なしの4着に大健闘。それも正攻法の競馬で粘り込んでおり、明らかに地力強化を証明する内容だった。ここは素直にジャパンダートダービーの内容を評価したい。		
4	6	ワグナーコーヴ	△1	単騎逃げを打てれば、ガラリイ変がありそう。自分の形を作れないと脆い面があり、近2走は揉まれて何も出来ず。今回はメンバー的に行き切れそうで、巻き返しがあってもいいだろう。京浜盃では勝ち馬ヤマノファイトから0.2秒差の2着に好走。このメンバーなら能力的に見劣ることはない。		
	7	スプリングマン		地方では大井【0.0.0.4】に対し、その他【2.1.0.2】。単純に大井に適性がない。苦戦必至だろう。		
5	8	クロスケ	○	前走ジャパンダートダービーは地方勢の中でクリスタルシルバーに次ぐ着順に入り、勝ち馬ルヴァンスレーヴから1.0秒差なら大健闘。地元馬同士の重賞なら当然上位争いに加わってくるだろう。馬場の中〜外に持ち出してスムーズに末脚を伸ばせば、クリスタルシルバーとの逆転も十分に考えられる。		
	9	ステラライト		3連勝時は明らかに相手関係に恵まれていた。		
6	10	ミスマンマミーア	×1	前走関東オークスで上り最速をマークして4着に健闘。クラウンカップ、東京プリンセス賞と結果を残せなかったが、使われつつ復調してきたと判断してよさそう。本質的に大井外回りは合っている。		
	11	マッドドッグ		2歳時から頭角を現していたが、その後の成長がいまひと息。北海道のクラシック路線は有力馬が他地区に移った後に行われるため、そもそものレベルが低い。南関東の重賞では歯が立たないのでは。		
7	12	サマルカンドブルー		3走前のチューリップ特別は走破時計、相手関係ともに全く評価できない一戦。前走サンケイスポーツ賞は普通に力負けの可能性が高く、重賞では荷が重いはず。		
	13	ビップレイジング	×2	持久力に優れたシニスターミニスター産駒で、東海ダービーは距離延長で本領発揮した感じ。正直、カツゲキキトキトでも2着だったので、そのカツゲキキトキトと比べると一枚落ちる感否めないものの、まだパフォーマンスを上げる余地があるので、人気がないなら押さえておきたい。		
8	14	ワンダーツー	△3	転入初戦でいきなりB1を勝利。今回は一気の距離延長がカギになるが、JRA時代にはダート1700mで好走歴があり、大井1800mにも対応できそう。上り馬という上り馬はいないが、強いて言うなら本馬になる。		
	15	トミケンジョメルト		使われながら力をつけてきた感はあるものの、春にはクレイジーアクセルやウルフオブウォーらに全く歯が立たなかった馬。重賞ではさすがに荷が重いのでは。距離が伸びていいタイプでもない。		